

いま、大江宏を語る

～法政大学建築学科教授としての大江宏～

2013年は、建築家・大江宏の生誕100周年の記念すべき年にあたります。

生誕100周年という節目をきっかけとして、法政大学建築学科出身の若手研究者によって、大江宏を中心としながら法政大学建築学科のアイデンティティとは何かを考えていく「大江宏研究会」を組織しました。研究会では、いま一度、大江宏の生き様とその仕事について考え、大江宏に関するあらゆる事柄を記録し、アーカイブとして後世に残していく活動とともに、大江宏から見た戦後建築とは何なのかを描いていきたいと思っています。そうした活動を通じて、私たちが社会の中で立ち振る舞うときの自分自身の核となる法政大学建築学科のアイデンティティを明らかにしていきたいと考えています。

2013年6月14日は、大江宏先生の100回目の誕生日です。

この記念すべき日をお祝いするとともに、法政大学建築学科での大江宏先生について、当時を知るOB・OGの皆様は、是非とも色々なエピソードをお伺いしたいと考えております。いままで何度も語られたことがあることとも存じますが、改めましてきちんとしたかたちで記録として残していくためにも、ご参加ご発言いただければと思います。

今回は、多くの方からお話をお聞きできるよう、参加者すべてが話し手であり聞き手であるという、ラウンドテーブル型の会とします。堅苦しい雰囲気ではなく、当時共に学び舎で時を過ごした旧友とかつての昔話をする、といった気軽な会に出来たら…と考えております。

主催 | 大江宏研究会
協力 | 法政大学建築学科同窓会
日時 | 2013年6月14日[金] 18:30-20:00
会場 | 法政大学市ヶ谷田町校舎 T207教室（予約不要）

プログラム

18:30-18:35 イン트로ダクション | 大江宏研究会
18:35-19:50 座談会
19:50-20:00 まとめ・今後について | 大江宏研究会
20:00- 懇親会（お一人3000円程度を予定）

お問合せ | 大江宏研究会 ohhiroshi.kenkyukai@gmail.com
<http://ohhiroshi.blogspot.jp/>